

令和6年度第3回 京丹後市社会教育委員会会議（会議録）

1. 日 時：令和7年2月5日(水)午前10時30分～午前11時26分
2. 会 場：京丹後市役所大宮庁舎 4階 会議室
3. 出席者氏名
（社会教育委員）大谷委員、土出委員、吉野委員、山副委員、和田委員、岩田委員、西原委員
※欠席：4人（中山委員、橋垣委員、藤村委員、李虎委員）
（事務局）教育長 松本明彦
教育次長 川村義輝
生涯学習課 課長 松本優、課長補佐 小森教正

4. 内 容
下記及び別紙次第のとおり
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 傍聴人 0人

次第

1. 開 会
2. 開会あいさつ

京丹後市社会教育委員会会議議長

京丹後市教育委員会教育長

3. 協議事項
（1）京丹後市公民館再編計画の廃止について（資料No1、参考資料）

（2）令和7年度社会教育推進の重点について（資料No2）
4. 報告事項
（1）令和6年度「丹後地方社教委連だより」について
編集委員：橋垣委員
原稿投稿者：藤村委員

5. その他
6. 閉会あいさつ
京丹後市社会教育委員会会議副議長

【会議録】

事務局 皆さんおはようございます。
雪が積もりまして道路交通の状況が悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまから令和6年度第3回の京丹後市社会教育委員会会議を開催させていただきます。

本日の欠席につきましては、中山委員さん、橋垣委員、藤村委員、李虎委員の計4名の委員さんから、あらかじめご欠席のご連絡をいただいております。

また福知山公立大の大谷先生におかれましては、京都市内から、電車でお越しいただいておりますありがとうございます。よろしくお願いいたします。それでは、開会にあたりまして京丹後市社会教育委員会議の和田議長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

和田議長 皆さんおはようございます。今日の議題を事前にメールで送ってもらって見せてもらってましたら、公民館活動や地域のコミュニティのことが載ってまして、私たちもいろいろ勉強しながら、地域の中で活動していくために、いろんな力をつけていたり、知識も得ていかないといけないなと思いながら資料を見させてもらっておりました。今日は、皆さんのたくさんの意見を聞かせていただきながら、充実した会議にしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

事務局 ありがとうございます。
続きまして京丹後市教育委員会 松本教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 皆さんおはようございます。
先月は比較的穏やかで過ごしやすい年明けだなと思っておりましたけれども、先ほどからもありましたように、一転しまして昨日から今期最強の寒波の影響ということで、大雪警報の恐れもあるというような予報も出ている中、委員の皆さんには、何とかここまでたどり着いていただきまして、ありがとうございます。

この寒波ですけれども週末になっても続くのではないかなというような予報も出ておりまして、学校園所の登下校だけでなく社会教育活動にも影響が出ないよう、除雪等についても、市長部局と連携しながら、対応していかなければならないと考えているところです。

さて、先月の19日に実施しました、京丹後市教育フォーラムでは、本市教育委員会が強力に推進している、グローバル人材育成プログラムを中心とした教育について、学校関係者だけでなく、青少年健全育成会、及び市のPTA連絡協議会も共催の形で進めさせていただきまして、当日はそうした効果もありまして、社会教育に関わる皆様の出席も多く、たいへん盛況の中で実施となりました。本市の各地域で各活躍されている影響力のある皆さんに、京丹後市の先を見据えて今進めようとしている教育について、具体的な取り組みを中心に理解を深めていただく、たいへんよい機会になったのではないかと感じています。

特に講演いただいた、前さいたま市教育長の細田真由美先生には、さいたま市の計画的で充実した先進的な実践について紹介いただくだけでなく、本市の取り組みについてもその共通性や先進性を強く価値づけていただき、聞いていた教職員や市民の皆さんに、本市の進めている教育の方向性についてしっかりと評価いただく機会にもなったのではないかと感じております。

ケーブルテレビでもすべての内容かはわかりませんが、今後、フォーラムの様子を放映いただくことになっておりますので、当日参加いただけなかった委員の皆様は、是非そこで確認いただければありがたく思います。

本日の会議では令和7年度社会教育推進の重点、京丹後市公民館配置計画の廃止について等協議いただく予定としておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 この会議は公開で開催をさせていただきます。傍聴の申し出はありませんでしたので、傍聴者ゼロという状況になっております。

この会議は会議録を作成させていただくために録音させていただきます。会議でのご発言の際はマイクをご使用いただきますようよろしくお願いいたします。

後日、会議録を確認いただき署名をいただく、会議録署名委員さんとして土出委員にお

世話になりたいと思います。よろしくお願いいたします。

議事に入る前に本日の資料の確認をさせていただきたいと思います。まず、次第をつけております。次に資料No. 1の今後の公民館活動および支援策等についてという資料をつけております。参考資料としまして、京丹後市公民館再編計画をつけております。資料No. 2としまして令和7年度社会教育推進の重点の新旧対照表をつけております。以上、本日配布させていただいた資料となります。

それでは、この後の議事につきましては、和田議長様よりお願いいたします。

和田議長 それでは、協議事項1の京丹後市公民館再編計画の廃止について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 <説明>

和田議長 ただ今の説明に対しまして、御質問、御意見等ございませんでしょうか。

委 員 公民館がなくなって、新たな地域コミュニティに継続するということで、私、島津におるんですが、島津も地域の島津学区新コミ協議会という新たな組織を作って、4月からやっていくんですが、他の地区の状況が、スムーズに公民館活動が新しい地域コミュニティに引き継がれているかどうかを教えてくださいませんか。

事務局 今の予定なんですけれども、市内全域で34組織の新コミュニティが立ち上がるというふうにお聞きをしております。今現在もまだ、その準備中ということでお聞きしております。

公民館活動につきましては、先ほど説明させていただきましたように、新たな地域コミュニティの中で引き続き行っていくということになるんですけれども、どういった形態で、そこを推進していくのかということは、その組織のそれぞれの形がおそらくあると思いますので、まちまちな体制で推進していかれるというふうに思っております。

公民館活動へのサポートにつきましては、各6町にあります地域公民館の方が担当して引き続きフォローをさせていただくというような形で今のところ考えております。

和田議長 それでは、続きまして協議事項2の令和7年度社会教育推進の重点について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 <説明>

和田議長 それではただいまの事務局の説明に対して、ご意見やご質問がありましたらお願いします。資料がたくさんなので。皆さん、お気づきの点がございましたら。全部まとめると質問しにくいので、少しずつ、細かく分けさせてもらってもよろしいですか。重点1の生涯学習社会の実現のところからお願いします。文言とか、何かありましたらお願いします。

委 員 来年度から新コミに移行するんですよね。そうすると、その重点1の3番、地域を作る公民館活動の推進ということで、ここの公民館活動という言葉は残しておくという形になるんでしょうかね。

事務局 3番、地域を作る公民館活動の推進ということでございますけれども、公民館活動は各地区の公民館活動の方は新しい地域コミュニティの方の組織の中で、例えば公民館部会という、組織の中で、部会を設けて公民館活動を継続していただくというような形となっておりますし、市としましても、地域公民館、それから生涯学習課に配置をしております中央公民館を中心と

いたしまして、公民館活動の方を継続し、行政サイドの方でも、行っていく形を予定しておりますので、公民館活動の言葉については、継続して使用をさせていただこうかというふうに思っております。

和田議長 他にありませんでしょうか。

委 員 (5)の人生100年時代の・・・、ずっと文章書いてありますが、全世代の市民が縦断で学びやすい学習機会の提供、これは高齢者大学の市民版みたいなのを指してるわけですか。

事務局 従来の高齢者大学というのは概ね60歳以上を対象とした講座だったんですけども、令和7年度から概ね18歳以上に対象世代を拡大して、市民大学という形でリニューアルして、取り組んでいくことで準備を進めております。記載の修正ということになっております。

委 員 では、市民大学のことを示しているのですね。

事務局 そうですね。

委 員 ……【聞き取り困難】

事務局 事務局の方で市民大学という文言を入れた方がいいというご意見もいただきましたので、検討させていただきたいと思います。

和田議長 他にありませんか。なければ、次の重点2 人権教育の推進。重点3の家庭・地域社会の教育力の向上は、下線の変更点はありませんので、次の文化芸術の振興です。ここはいかがでしょうか。

委 員 (6)の郷村、丹後震災100年の節目を契機としてというところで、記念館の耐震化保存活用の検討を進める、これは今どういうふうに進んでるのでしょうか。教えていただけたら嬉しいです。

事務局 (6)のところですけども、ここにも書いておりますように、昭和2年3月に発生した北丹後地震が、令和9年3月に100周年を迎えるというところと、その時の全国からの義援金を使って建てた丹後震災記念館というのが峰山町に建っているんですけども、それが昭和4年に、建っておりますので、ちょうど今年で96年になる状況ですが、ご承知の方もあると思いますけれども、現建物がもう耐震化がないということで、もう10年少し前からもう立ち入り禁止の状態が続いております。

こういった節目を迎えるにあたって、今年度、それぞれの分野の専門家の方にお集まりいただいて、震災記念館をどうしていくかということは今検討している最中です。

今年度3月をもって、一定の方向性を出していこうということにしておりますので、お出しいただいた方向性に基づいて、来年度どうしていくかということとをさらに、例えば耐震化をしていこうということであれば、それに向けての計画を来年度つくっていこうということですが、まず、保存していくかどうか、保存していくとしたら、どういった保存の仕方があるか、そしてそうするにはお金がたくさんいりますので、どういった資金の集め方をしていくかということとを、検討していこうということで、ここに今回入れさせていただいたということです。

和田議長 他にはないでしょうか。6生涯スポーツの推進のところ、何かないでしょうか。

委 員 スポーツ人口が増えることなのか、レベル的に全国大会に、いろんな競技が出て、その競技数が増えることが競技力の向上なのか、とかスポーツチームが今減少していると思うんですけどそれがまた増えていくことが向上なのか。個人競技もあると思うので、その辺は、わかんないんですけども、何かどうかなっているのを、なんかわかりにくい部分なので、私たちもやっていて、ちょっと疑問を持ちました。

事務局 スポーツ競技力向上ということで、ちょっと漠然とした部分ではあるとは思いますが、でも第二次京丹後市スポーツ推進計画の中で、一定の指標をもっているようです。

スポーツ競技力の向上ということで基本目標という目標数値を持っておりまして、例えば、世界大会・全国大会出場者数ということで、目標値これ、令和9年度を目標年度にしてる数値なんですけれども、65人という目標値を設定しております。

あと京都府の府民総合体育大会の入賞競技者数ということで、同じく令和9年度の目標数値ということで10競技、入賞することを目指しております。

京丹後市総合スポーツ大会参加者数ということで令和9年度、1,400人の参加者数を目指して取り組みたいということで、こういった一定の目標数値を持っておりますので、こういったところを目指すことによってスポーツ競技力の全体を底上げしていきたいということで考えております。

和田議長 他にございませんでしょうか。あるようでしたら、事務局に直接連絡させていただくということで。

委 員 実は前々回のときにお話させてもらったんですけど、地域共生ステーションということで、公民館と、市民局と社会福祉協議会が三つ巴になって地域づくりを行っていくってということで、健康と、何とかのづくりの審議の方で、先日、多分重層的支援体制整備の計画案が作られて、今度答申が行われるかと思うんですけども、その中で、重層的支援体制整備事業の中に地域共生ステーションというか、ばっちり載ってるんですね。

それが今回この中に載ってきていないっていうところが少し気になると思いますか、かなり7年度から事業が、推進されて始まってくる中で、ここには載せていったほうがいいんじゃないかなあというふうに思いました。何をどういうふうにとすることは、実は頭にはないんですけども、地域づくりというところの中なのか、参加支援をしていくっていうところが、あるんですけど、いずれにも、重層計画の中には、共生ステーションって地域公民館って書いてあるんですね、なので、何かやっぱりここがやっぱりこの縦割りが横串を刺すっていうのが重層的支援だと思しますので、ぜひこの教育推進の重点のところにも何かそういうところを入れていただくと良いのではないかなというふうに思いました。

事務局 新コミが4月から立ち上がるということもありますし、地域共生ステーションということで市民局ですとか、あと、地域公民館、社会福祉協議会さんといったようなところでですね、地域住民の福祉の増進を目的に横串を刺した取り組みをやっているという枠組みだと思いますので、おっしゃいますように、公民館活動の関係も連携をして取り組んでいくところも関連してくると思いますので、預からせていただいて、検討させていただきたいと思います。

和田議長 それでは検討をお願いします。他に。委員に、全体のご意見があればお願いしたいです。

委 員 前回お休みしてしまったので、ここで、この市民大学についてのことですか、新たな地域コミュニティに移行するっていうお話は伺っていたんですけども、特にこの文言について、ここが、こうしたらいいんじゃないかとかいうのは、なかったんですけども、前回伺ってなかったんで、今ちょっとこちらと合わせて見させていただいて、市民大学の参加者が市民って

書かれているんですけども、これは前にお話したことなかったかもしれないんですが、私フィンランドの、公立の生涯学習センターみたいなところの研究をしていて、そこがコロナ禍の中で、結構オンラインでいろいろ変わったんですよ。変わったときに、市民の人のために、もう何かすごい無数に講座があるんですけども、提供していてそのオンラインに変えたときに、これは願ってなかったこと、思っただけだったことらしいんですけども、他の地域からの受講生が、それに参加したり、外国からアクセスして、参加するっていうことがあって、受講料は取ってるので、それをクレジットカードとかで払ってるんだと思うんですけども、こういった取り組みをしたときに市民プラスアルファの、なんかもっと、呼び込めるようなことがあるのかなっていうので、もちろん市民の方、一番対象っていうことはもちろんなんですけれども、その文言を変えろとかそういうことは全然ないんですけども、そこでまたプラスアルファのことが生まれるのかなっていうので、期待が少し持てるかなっていうような気がいたしました。

和田議長 オンラインでもされるんですね。

事務局 はい、会場で受講していただく方法とオンラインで会場に来ていただけない方はいつでも視聴できたり、アーカイブ配信など、そういったことも検討しているところです。

今のところの想定ですと、市民を対象とした講座ということで、検討してるんですけども、委員おっしゃったように、市外の方の受講ですとか視聴も確かにできるといいなという部分ではありますので、事務局の方で、どういった方法で参加していただけるかというところもちょっと検討しながら、組み立てていければなというふうに思います。

すでに何回か試行的に市民大学の講座しておりまして、その中の1つで、有害鳥獣の対策の講座をしたんです。そのアーカイブ配信をぜひ視聴したいんだということで、京都大学の大学院生の方から、問い合わせがありまして、そういった専攻されてる方だと思ってるんですけども、そういったこともケースとしてはありますので、そういった形で、なるべく門戸を広げて受講していただけるようなことをちょっと検討していきたいなというふうに思います。

どういった方が何人受講しているかということ、どうしても事務局の方は把握したこともあるということもありまして、今のところ申し込み制ということにしておりますのでそういったところでちょっと制限もかかってくるかなという部分もあるんですけども、そういったところで検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

補足ですが、ズーム配信になりますと人数が確認ができるんですけども、中にはまずズーム配信であつたりとか、あとYouTubeの配信ですね、京丹後市の公式YouTubeの方での配信ということで、後日、いつでも見ていただけるような状態というところもありますので、そういった部分の方々の、ちょっとカウントをどうするかというのは、あるんですけども、先ほど課長の方からもありましたように、京都大学の方からもお問い合わせいただいておりますので、そういった部分、ホームページ等から掲載させていただきますと、様々な方からですね、いろんな角度から見ていただける事にもなろうかなと思っておりますので、そういった部分での拡大という部分も検討していきたいなというふうに思っております。

和田議長 ぜひお願いします。京丹後ならではのものだったら、外の人にも、有害鳥獣、私たちはぴんときませんけど。きっと、興味のある方はそうなんでしょうし、丹後ならではのものが発信できたら、いろんな意味で市にとってもプラスになると思うので、ぜひお願いします。

それでは、他にないでしょうか。ないようでしたら、続きまして、報告事項1、令和6年度丹後地方社協委連だよりについて事務局より説明をお願いします。

事務局 前回の会議の方でもご紹介をさせていただいておりますけれども、丹後地方の社協委連だよりを作成するに当たりまして、本市から、編集委員として橋垣委員にご参加をいただいております。

ます。前回 12 月の会議、1 月にも第 2 回目の編集会議に橋垣委員にご出席をいただいております。現状、最終段階の取りまとめの方を、丹後教育局を中心に作成をいただいておりますので、最終原稿が上がって参りましたら、皆様の方にもお届けをさせていただければというふうに思っております。

藤村委員におかれましても、本市からの原稿の投稿ということで、A4、1 枚程度の記事の作成をいただいております。本日お二方とも欠席でございますけれども、ご報告とさせていただきますと思います。

和田議長 でき上りを楽しみにさせていただきたいと思います。ただいまの説明に対してご意見やご質問がありましたらお願いします。

続きまして、5、その他ということで、何でも構いませんので日頃思っておられることでも、構いませんので何かありましたら、一言お願いしたいと思います。

特にないようですので、協議事項及び報告事項が終わりましたので、これ以降の進行については事務局にお返ししますので、よろしくお願いします。

事務局 スムーズな進行ありがとうございました。準備させていただいた協議事項の方、これで終わりました。会議の閉会にあたりまして、山副議長さんより閉会のご挨拶を申し上げます。

山副議長 今日は大雪の寒い中、第 3 回の社会教育委員会会議ということで、7 年度の社会教育推進の重点等々につきまして、貴重な意見も出していただきました。

今週いっぱい、寒い日が続くというふうに予報等もなっております。寒波が続くようでございます。体調には十分気をつけられまして風邪などひかないようにしていただきたいと思いますというふうに思います。

今年度は、これが最後の会議ということになります。それでは、今日は本当にご苦労さんでございました。

事務局 それでは本日の会議はこれで終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

。